

XP-002068202

1/1 - (C) WPI / DERWENT
AN - 84-071064 612!
AP - JP820133643 820802
PR - JP820133643 820802
TI - Packing resin compsn. used for fixing carpets -
contains low density polyethylene, ethylene-vinyl
acetate copolymer and inorganic fillers
IW - PACK RESIN COMPOSITION FIX CARPET CONTAIN LOW DENSITY
POLYETHYLENE ETHYLENE VINYL ACETATE COPOLYMER INORGANIC
FILL
PA - (HAYA-N) HAYASHI TELEMPU KK
PN - JP59024735 A 840208 DW8412 003pp
- JP1019689B B 890412 DW8918 000pp
ORD - 1984-02-08
IC - A47G27/02 ; C08K3/00 ; C08L23/06
FS - CPI;GMPI
DC - A18 A95 P27
AB - J59024735 Compsns. comprises 100 pts. wt. of (1) low
density polyethylene, 15-60 pts. wt. of (2)
ethylene-vinyl acetate copolymer or its graft copolymer
and 30-200 pts. wt. of (3) inorganic fillers.
- Pref. (1) has M.I. (JIS K 6760) of 10-50 (from the
viewpoint of processability). Pref. (2) has M.I. of
10-75. A ratio of M.I. of (1) to M.I. of (2) is
1:1.5-1.5:1. (3) includes e.g. calcium carbonate,
barium sulphate, mica, talc, aluminium hydroxide. 0-20
pts. wt. of tackifiers, low molecular wt. resins (e.g.
paraffin wax), plasticisers, flame retardants,
colouring pigments may be added to the compsns.
- The carpet fixed by the use of the resin compsns. as
packing material has excellent bending rigidity, pile
removal strength and mouldability.(0/0)

S2 1 PN=JP 59024735

?

2/9/1

DIALOG(R)File 351:Derwent WPI

(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

003925520

WPI Acc No: 1984-071064/198412

XRAM Acc No: C84-030431

XRPX Acc No: N84-053624

Packing resin compsn. used for fixing carpets - contains low density polyethylene, ethylene-vinyl acetate copolymer and inorganic fillers

Patent Assignee: HAYASHI TELEMPU KK (HAYA-N)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
-----------	------	------	-------------	------	------	------

JP 59024735	A	19840208	JP 82133643	A	19820802	198412 B
-------------	---	----------	-------------	---	----------	----------

JP 89019689	B	19890412			198918	
-------------	---	----------	--	--	--------	--

Priority Applications (No Type Date): JP 82133643 A 19820802

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
-----------	------	-----	----	----------	--------------

JP 59024735	A		3		
-------------	---	--	---	--	--

Abstract (Basic): JP 59024735 A

Compsns. comprises 100 pts. wt. of (1) low density polyethylene, 15-60 pts. wt. of (2) ethylene-vinyl acetate copolymer or its graft copolymer and 30-200 pts. wt. of (3) inorganic fillers.

Pref. (1) has M.I. (JIS K 6760) of 10-50 (from the viewpoint of processability). Pref. (2) has M.I. of 10-75. A ratio of M.I. of (1) to M.I. of (2) is 1:1.5-1.5:1. (3) includes e.g. calcium carbonate, barium sulphate, mica, talc, aluminium hydroxide. 0-20 pts. wt. of tackifiers, low molecular wt. resins (e.g. paraffin wax), plasticisers, flame retardants, colouring pigments may be added to the compsns.

The carpet fixed by the use of the resin compsns. as packing material has excellent bending rigidity, pile removal strength and mouldability:

0/0

Title Terms: PACK; RESIN; COMPOSITION; FIX; CARPET; CONTAIN; LOW; DENSITY; POLYETHYLENE; ETHYLENE; VINYL; ACETATE; COPOLYMER; INORGANIC; FILL

Derwent Class: A18; A95; P27

International Patent Class (Additional): A47G-027/02; C08K-003/00;

C08L-023/06

File Segment: CPI; EngPI

Manual Codes (CPI/A-N): A04-G02E; A04-G07; A07-A02C; A08-R01; A12-T04B

Plasdoc Codes (KS): 0003 0037 0205 0206 0218 0222 0057 0060 0066 0069 0231

0239 0240 0241 0242 0246 3155 0788 0789 0790 1989 2208 2211 2218 2221

2231 2307 2321 2511 2562 2585 2628 3252 2679 2723 2822

Polymer Fragment Codes (PF):

001 014 034 037 04- 040 041 046 047 048 06- 066 067 075 15- 18& 18- 19-

20- 229 259 27& 28& 303 305 308 310 311 312 315 364 365 437 440 475

477 512 514 539 54& 546 551 560 566 575 583 589 597 600 614 664 688

721

Derwent Registry Numbers: 1278-U; 1541-U; 1739-U; 2020-U; 5272-U; 5295-U

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—24735

① Int. Cl. ³	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 昭和59年(1984)2月8日
C 08 L 23/06		6609—4 J	
A 47 G 27/02		7634—3 B	発明の数 1
C 08 K 3/00	C A M	7342—4 J	審査請求 未請求
// (C 08 L 23/06			
23/08)		6609—4 J	
(C 08 L 23/06			
51/06)		7167—4 J	(全 3 頁)

⑭ 車両用カーペットパッキング樹脂組成物

番地

① 特 願 昭57—133643

① 出 願 人 林テレンプ株式会社

② 出 願 昭57(1982)8月2日

名古屋市中区上前津一丁目4番

③ 発 明 者 林勇夫

5号

名古屋市昭和区折戸町6丁目56

④ 代 理 人 弁理士 若林忠

明 細 書

1. 発明の名称

車両用カーペットパッキング樹脂組成物

2. 特許請求の範囲

1. 低密度ポリエチレン/00重量部、エチレン酢酸ビニル共重合体あるいはそのグラフト共重合体/5~60重量部、および無機充填剤30~200重量部よりなる車両用カーペットパッキング樹脂組成物。

2. 前記低密度ポリエチレンのメルトインデックス(M.I.)が10~50で、前記エチレン酢酸ビニル共重合体あるいはそのグラフト共重合体のM.I.が10~75であり、前記両者のM.I.の比率を1:1.5~1.5~1とすることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のカーペットパッキング樹脂組成物。

3. 発明の詳細な説明

本発明は自動車のフロア等に敷設されるカーペットのパッキング用樹脂組成物に関する。

従来、自動車用カーペットのパッキング方法は、

その一つとして低密度ポリエチレン(以下LDPEと云う)をTダイにより押出してカーペット裏面に貼合わせロールにより圧着する方法があった。この場合LDPEの目付量は普通200~650g/m²の範囲である。

この方法によりパッキングされたカーペットには次のような問題点があった。すなわち、パッキング層の剛性が高いためフロアに敷いた時のクッション性が劣り、またこれと関連して遮音性を改良する目的からパッキング層の目付量を増すと、剛性が高くなり過ぎ、事実上使用不可能となる。さらに、LDPEは充填剤を混入することが困難なためコストが高くなる。すなわちLDPE内への充填剤の分散が不均一となり、そのためアバタが発生したりその他の欠陥部が生じたりした。実際上30%以上の充填剤の混入は強度的にも不可能である。

上記以外の方法として、上記欠点を改良し、従来のLDPEの代りに下記配合の材料を用いる方法がある。

両用カーペットパッキング樹脂組成物を提供するにある。

本発明の組成物の配合は下記の通りである。

(イ) 低 度ポリエチレン (LDPE) … 100 重量部
パッキング時の加工性を維持するために J I
SK 6760 によるメルティンデックス (以下
M.I. と云う) を 10~50 の範囲とすることが好ましい。

(ロ) エチレン酢酸ビニル共重合体 (以下 EVA と
云う) あるいはそのグラフト共重合体 … 15
~60 重量部

加工性の点から M.I. を 10~75 の範囲と
することが好ましく、また LDPE の M.I. との
比を 1 : 1.5 ~ 1.5 : 1 とすることが混合を均
一にするために好ましい。

(ハ) 無機充填剤 …… 30 ~ 200 重量部

無機充填剤としては、炭酸カルシウム、硫酸
バリウム、マイカ、タルク、水酸化アルミニウ
ム等が使用可能である。

(ニ) 粘結剤 …… 0 ~ 20 重量部

その材料は、エチレン酢酸ビニル共重合体 の
エチレン共重合体に充填剤として炭酸カルシウム
等、および粘結剤としてアタクチックポリプロピ
レンあるいはパラフィンワックス等の低分子量樹
脂を混合したものである。

この材料は特に適音性を向上させるためにパッ
キング層の目付を $1\text{kg}/\text{m}^2$ 以上とした場合には有
効で良好な剛性とパイルの拔糸強度を保持すると
ことができる。しかし、 $1\text{kg}/\text{m}^2$ 未満のパッキング
目付の場合には、耐熱性が不足し、また柔軟性が
あり過ぎて床への置敷性が良くないという欠点が
ある。

本発明の目的は、上記従来の欠点を克服し、低
密度ポリエチレン、エチレン酢酸ビニル共重合体
あるいはグラフト共重合体および無機充填剤を所
要の割合において配合して、樹脂中への充填剤の
分散を改良し、そのことによりパッキング剤のコ
ストを低減し、またパッキング目付が 200 ~
1000 g/m^2 の場合に最適な剛性をカーペット
に与えるためにパッキング材の硬さを調節した車

これにはアタクチックポリプロピレン、パラ
フィンワックス等の低分子量樹脂その他可塑剤、
防燃剤、耐電防止剤、着色顔料等必要に応じて
混入する。

上記本発明の組成物を混合する方法として種々
あるが、一例を挙げれば、無機充填剤を粘結剤で
あらかじめ果粒状に固めておいて EVA とともに
ペレット化し、その後 LDPE とドライブレンド
して T ダイによりフィルム状に押出し、カーペッ
トのパッキングに使用する方法がある。

つぎに、本発明の実施例と対照例とを示し、両
者を比較して評価する。

実施例 1

配 合

M.I. が 35 の LDPE …… 100 重量部

M.I. が 50 の EVA …… 30

炭酸カルシウム …… 70

EVA と炭酸カルシウムはあらかじめペレット
化を行ない、LDPE とドライブレンドした。
これをパイル目付 650 g/m^2 のタフテッドカ

ーペットの裏面に 350 g/m^2 塗布した。

実施例 2

配 合

M.I. が 35 の LDPE …… 100 重量部

M.I. が 20 の EVA …… 30

炭酸カルシウム …… 70

アタクチックポリプロピレン …… 7

EVA、炭酸カルシウム、アタクチックポリプロ
ピレンはあらかじめペレット化しておいて実施例
同様カーペット裏面に 350 g/m^2 塗布した。

比較例 1

配 合

M.I. が 20 の LDPE …… 100 重量部

これを実施例 1 と同じカーペット裏面に 350 g/m^2
塗布した。

比較例 2

配 合

M.I. が 20 の EVA …… 30 重量部

炭酸カルシウム …… 70

アタクチックポリプロピレン …… 7

これを実施例1と同じカーベットに350g/m²パッキングした。

上記実施例1、2および比較例1、2とを下記の評価項目により評価して比較した。

評価項目

1. 曲げ剛性

長さ200mm、幅25mmの試験片をたておよび横方向からそれぞれ5枚ずつ取り、一端が45°の斜面を持ち、表面がなめらかで水平台の上にパッキング層を下にして置き、次に斜面の方向に約10cm/secの速度ですべらせ、試験片の一端が斜面と接したときの他端の移動距離を読む。

2. パイル素抜け強さ

適当な大きさの試験片を平台に固定し、パイルの一束をわねぐちクランプでつかみ、スプリングスケール(0~5kg)で強く引張り、パイルが抜けるのに要する荷重を測定する。

3. 成形性

パッキング済みのカーベットを自動車の床に

合せて成形する場合のカーベットの破れ、シワ、成形後のもどきから評価する。

第1表はこの評価結果を示す。

第1表

試料 項目	実施例 1	実施例 2	比較例 1	比較例 2
曲げ剛性 たて 送り長さ(mm) よこ	130 115	120 100	160 140	85 80
パイル素抜け強さ (kg)	1.6	1.5	1.4	1.1
成形性	良	良	良	破れ

第1表において、比較例1の曲げ剛性は本発明の実施例1、2より高い。この事はカーベットのクッション性が劣ることを示している。また実施例1はLDPEが単独で充填剤を使用していないのでコストが高い。

一方比較例2は、パイル素抜け強さおよび成形性が本発明の実施例1、2より劣る。

本発明の効果について説明すると次の通りである。すなわち、LDPE中に炭酸カルシウム等の

充填材を混入することは分散が悪いため不可能であるが、本発明においては、EVAを炭酸カルシウム等の充填剤と予め混合しておくため、その分散が良好である。それ故充填剤を一定の割合で混入できるのでパッキング樹脂の材料コストの低減が可能となる。

さらに、本発明においては、LDPE、EVAおよび炭酸カルシウム等の充填剤の三者により主成分を構成することから、最終製品のカーベットが最適な曲げ剛性(剛性が大きすぎるとクッション性が悪くなり、小さいとボディへの取付作業が低下する)と良好なパイル素抜け強さ、および良好な成形性を有する。

特許出願人 林テレンプ株式会社

代理人 若 林

